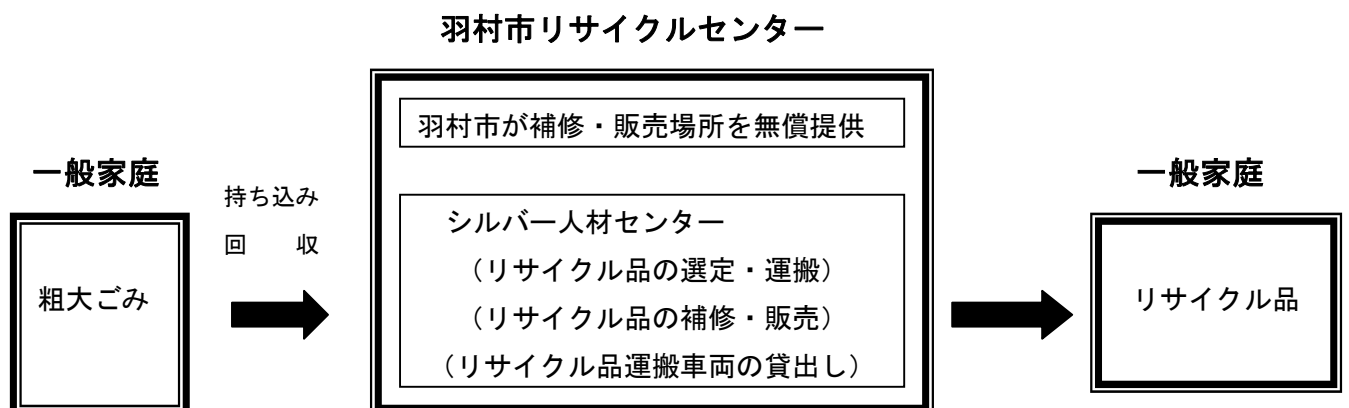


## 羽村市リサイクル品販売事業について（案 1）

1. 実施団体 (社)羽村市シルバー人材センター
2. 開始日 平成22年4月1日（木）
3. 販売場所 羽村市リサイクルセンター1階工作室（約108㎡）  
羽村市羽 4221-1
4. 営業日 月曜日～金曜日 午前9時～午後4時  
毎月第1日曜日 午前9時～正午、午後1時～午後4時  
（イベント時等の販売も可能とする）
5. 定休日 土曜日、日曜日（毎月第1日曜日は除く）、祝日、  
12月29日～1月3日（年末年始）
6. 販売方法 リサイクル品を常時展示し、価格表示販売方式
7. 目的 羽村市が清掃事業によって収集又は持ち込まれた廃棄物のうち再使用可能な物の販売を（社）羽村市シルバー人材センターにおいて実施することによって、ごみの減量及び再使用に関する市民意識の高揚を図るとともに、高齢者の社会参加の促進を図ることを目的とする。
8. 業務内容 （社）羽村市シルバー人材センターに羽村市リサイクルセンター1階工作室と粗大ごみとして集められた家具等を無償で提供し、（社）羽村市シルバー人材センターが補修作業や販売等を行い運営する。

## 9. リサイクル品の流通と関係団体の役割



## 10. リサイクル品販売に関する業務詳細内容

- (1) 羽村市が雇用する（社）羽村市シルバー人材センターの作業員の勤務時間は、  
月曜日～金曜日 午前9時～午後1時（4H）とする。  
  
（社）羽村市シルバー人材センターが雇用する販売員の勤務時間は、  
月曜日～金曜日・毎月第1日曜日  
午前9時～正午、午後1時～午後4時（6H）とする。
- (2) リサイクルセンター処理棟に、搬入された粗大ごみ等の中からリサイクル品として販売可能な品物を選定し、リサイクルセンター工作室にて、補修作業を行い販売する。
- (3) 売れ残ったリサイクル品は、リサイクルセンター処理棟にて、無償で処分することができる。また、リサイクル品の補修に必要な部品については、搬入された粗大ごみの中から抜き取り、使用することができる。
- (4) リサイクル品の料金は、（社）羽村市シルバー人材センターが設定する。
- (5) リサイクル品の配送業務については、（社）羽村市シルバー人材センターで用意した運搬車両をリサイクル品の購入者に貸出す。  
（購入者への運搬車両の貸出しの料金は、シルバー人材センターで設定する）
- (6) リサイクル品の補修、販売については、台帳などで管理を行い、翌年度の4月上旬までに、羽村市にリサイクル品販売事業実績報告書を提出する。
- (7) リサイクル品の売り上げ金は、（社）羽村市シルバー人材センターの収入とする。
- (8) 年2回(5月、11月)実施している青空市にもリサイクル品を出展し、販売することも可能とする。（運搬車両の貸出し又は、配送については要調整）

## 1 1. リサイクル品販売事業に係る費用

### 【(社) 羽村市シルバー人材センター】

#### 【収入】

年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
販売金額	0 円	1, 2 8 8, 8 2 0 円
配送料	0 円	1 3 5, 5 0 0 円
合計	0 円	1, 4 2 4, 3 2 0 円

#### 【支出】

年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
人件費	0 円	1, 2 2 4, 0 0 0 円
修繕費	0 円	3 9, 0 0 0 円
車両リース代	0 円	1 9 1, 5 2 0 円
合計	0 円	1, 4 5 4, 5 2 0 円

#### 【収支差引き】

年度	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
計	0 円	△ 3 0, 2 0 0 円

※平成 22 年度の販売金額は、平成 20 年度リサイクル品販売金額とした。

※平成 22 年度の配送料は、福祉の店あおぞらでの平成 20 年度実績値とした。

よって、平成 2 1 年度と平成 2 2 年度の費用を比較すると、

3 0, 2 0 0 円/年の経費の負担額が増える。

#### 【算出方式】

(人件費)

$$\text{時給 } 800 \text{ 円} \times 1, 530 \text{ 時間} = \underline{1, 224, 000 \text{ 円/年}}$$

※時給は販売員の単価 ((社) 羽村市シルバー人材センター設定)

※時間数は、(243 日 + 12 日) × 6H

(修繕費)

リサイクル品販売事業に係る消耗品購入額

木工用ボンド、刷毛、スポンジ、水性ニスなど 39, 000 円/年

(車両リース代)

(社) 羽村市シルバー人材センターの平成 20 年度実績値とした。

15,960円/月 × 12ヶ月 = 191,520円/年

## 12. リサイクル品販売事業に係る費用の比較【羽村市】

### 【収入】

年度	平成21年度	平成22年度
販売金額	0円	0円
合計	0円	0円

### 【支出】

年度	平成21年度	平成22年度
人件費	995,085円	0円
修繕費	39,000円	0円
合計	1,034,085円	0円

### 【収支差引き】

年度	平成21年度	平成22年度
計	<b>△1,034,085円</b>	0円

よって、平成21年度と平成22年度の費用を比較すると、

1,034,085円/年の経費の削減が図れる。

### 【算出方式】

(人件費)

時給 1,053円 × 900時間 × 1.05 = 995,085円/年

(修繕費)

リサイクル品販売事業に係る消耗品購入額

木工用ボンド、刷毛、スポンジ、水性ニスなど 39,000円/年

## 13. (社)羽村市シルバー人材センターがリサイクル品販売事業を運営することによるメリット

- (1) ごみの減量及び再使用の促進が図れる。
- (2) リサイクル品販売事業に係る経費の削減が図れる。
- (3) 高齢者の社会参加の促進が図れる。
- (4) リサイクルセンターでリサイクル品の販売を行うことで、粗大ごみを処分するために来館した市民も立ち寄ってリサイクル品を購入することが期待できる。
- (5) リサイクルセンターでリサイクル品の販売を行うことで、リサイクル品

を補修する際、部品の調達が迅速に行える。

#### 14. (社)羽村市シルバー人材センターがリサイクル品販売事業を運営することによるデメリット

- (1) 羽村市リサイクルセンター1階工作室が、他の目的で使用する事が不可能になる。
- (2) 売り上げ金の減少によっては、事業の継続が困難になる可能性がある。